

乳幼児期のアトピー・喘息と受診後の強い全身症状を経て学校生活に戻った小児アトピーの経過 (11 歳 女児)

症例 ID：001-11-KM | 記録日：2006 年 8 月 22 日

1. 診断・治療前経過

生後 3 か月に顔の強い症状があり、乳児期から鼻水、おむつかぶれ、不眠が続きました。幼児期には喘息、結膜炎、中耳炎、鼻炎もあり、複数の薬を使用しました。

学童期もアトピーと花粉症が続き、5 年生の夏に全身が赤くなったことをきっかけに松本医院を受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	マイザー、リンデロンローション、混合外用薬などを使用しました。
製品名	マイザー、リンデロンローション、ほか不明です。
強度	ストロング級を含みます。
使用期間	乳幼児期から 11 歳頃まで断続的に使用しました。
中止時期	小学 5 年生の夏、松本医院での治療開始時です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
乳児期	発症	顔症状、鼻水、おむつかぶれ、不眠が続きました。
3～5 歳頃	複数症状	喘息、結膜炎、中耳炎、鼻炎、皮膚症状で複数科へ通院しました。
小学 5 年生夏	治療開始	全身の赤みをきっかけに松本医院を受診しました。
治療 7 日頃	一時的変化	皮膚が一時的に滑らかになりました。
治療約 1 か月	ピーク	全身の強いかゆみと厚い湿疹、不眠が続きました。
2 学期	学校への影響	約 2 週間欠席し、運動会も欠席しました。
10 月中旬頃	回復傾向	かゆみが減り、自室で眠れるようになりました。
冬～翌春	生活変化	スキーツアーに参加し、喉の痛みで学校を休むことも減りました。
翌夏	経過後	プールや友人宅への宿泊ができるようになりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始約 1 か月後に全身の強いかゆみで夜間に 2～3 時間掻き続け、学校を約 2 週間休んだ時期です。

5. 困りごと

- ・夜間の強いかゆみと不眠により、昼夜逆転となりました。
- ・学校を約 2 週間休み、運動会を欠席しました。
- ・全身の消毒と外用処置に時間がかかりました。

6. 検査値・写真・画像 ※治療前後の比較ではなく、経過中にみられた症状や検査値の記録として掲載しています。

時期	総 IgE
初回（8 月）	300 台
11 月	200 台

時期	総 IgE
治療 7 か月（3 月）	100 台
翌夏前	200 台

7. 経過のまとめ

秋にはかゆみが減って自室で眠れるようになり、冬にはスキーツアーへ参加しました。

翌夏にはプールで遊び、友人宅に泊まれるまで学校生活と余暇活動が戻りました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。